

磐城時報

編輯人 岡田 弘成
印刷所 磐城時報印刷所
電話 一四七
代印所 磐城時報印刷所
電話 一四七
廣告料 一行十文字五拾錢
日刊（日曜、祭日）休刊

磐城共済會の 更正陣容整ふ

近く理事會を開いて 會長、副會長を互選

磐城共済會總會は二十四日午前
十時から平町警察署會議室に
開き昭和六年三月三十一日現在
による貸借對照表を附議し調査
委員として

植田農會で 自力更正策

の五氏をあげて調査する事と
なり役員改選の結果左の如く議
長井上茂作氏から指名により決
定した。近く理事會を開き會長
副會長を互選する等である。

産業組合を設立し 川前村で自力更生

二十六日設立委員會

川前村では不況時の自力更生策
として産業組合を設立する事と
なり過般來宇佐見村長等が主唱
となり創立委員十七名を擧げて
準備中であつたが、愈々具休案
を練るため二十六日午後一時か

大浦消防組 新舞子で清遊

を練るため二十六日午後一時か
石城郡大浦村消防組に於ては二
ある。

十五日午前十時より機械器具の
検査をなし終つて新舞子で納涼
會を催す。

衛生活動寫眞

いなき新報社主催衛生思想普及
映畫會は二十六日午後七時から
平町町元博覽會館に開き終つ
て小田部平署長の講演がある。

健康相談所 嘱託藥劑士

平健康保險相談所では開所以來
毎月三、四十名の來所者あり町
示し稅務當局では署長以下大重
これがため同所ではこの遠來の

炭礦側と呼應して 關係町村も運動

石炭運賃値下げ問題

常磐有無煙の大小三十三炭礦の
運賃値下げ運動は臨時議會を機
としよく實體に入りこれと
相呼應して炭礦の浮沈は地元町

僧侶が無錢飲食 遊廊に放火した前科者

本籍山形縣最上郡豊里村大字京
塚字三吉町九番地僧侶吉村禪
正十四年山形縣新庄町遊廊で娼
婦（二六）は昨二十三日午後六時
頃四倉町字仲料理店賣來屋事
鈴木豊高氏方に登樓午後十一時
頃迄に六圓二十錢分を飲食し無
一文なので四倉署に突き出され

兩戸を閉めて 銀貨偽造の試験

包み切れず遂に自白 前科十五犯のした、か者

石城郡内郷村大字小島居住仙臺
市東一番町生れ金成勘七（五七）
は本年二月北海道釧路刑務所を
出獄以來前記場所に住居し金剛
出獄以來前記場所に住居し金剛
出獄以來前記場所に住居し金剛

「奴」の出前持ち 自轉車で金を持ち逃げ

双葉郡長塚村大字鴻草武田三雄
事丸山ぶく方に雇はれ中二十二
日夜取立金七十五錢を持つて同
店の自轉車で逃走、二十三日湯
本町で平署員に捕はれたが、取
調の結果一昨年七月東京市外
向島込町大工太田三榮方に雇は
れ中も同様手段で五圓の持ち逃
げをなした事も自白した。

木賃宿で 熱病にかゝる

群馬縣高崎市相生町生れ小間物
行商三村徳太郎（五五）は一ヶ月
前から平町長橋町某木賃宿に止
宿行商をしてゐたが、数日前か
ら熱病にかゝり商賣が出来ずこ
のまゝでは餓死する外ないとい
十四日平町役場に救濟方を願ひ
出た。

女郎の 眼鏡を盗む

山形縣東村山郡生れ當時住所不
定内藤鶴（三三）は二十二日午後
十時頃平町鎌田遊廊住吉樓に登
樓し娼妓小錦を娼妓として遊興
中笠筒より金縁眼鏡価格二十位
を窃取何喰はぬ顔で翌朝植田方
面に逃走したが手配中により植
田署員に捕へられ目下取調中

湯本水道 九月竣工式

湯本町上水道工事は意外に進捗
し九月末竣工の運びである。既
幹線の鐵管埋設終り目下最後工
事である引込線工事中で九月上
旬竣功式舉行の運びとなつた尚
専用檢査定數千二百に對し千四
百共同檢五百に對し八百といふ
何れも豫想外の多數申込ありこ
れによつて町財政上にも収入増
となり湯の町の町となつて

増田醫院分院

石城
郡平町町増田耳鼻咽喉科醫院

石城の米價 底知らずの米相場はまだ先安も見越されてゐるが町穀物検査所につき現状を聞くに管内各共同販賣市場では現在全く取引中止の有様である平町農業者の在米は去年に比本年は約増加してゐるこれは畢竟先安による買氣の鈍重に原因するもので出来秋頃は恐らく十圓を割るだろうとの悲觀説が充滿し平町の米穀界は深い憂色につつまれてゐるなほ地方農村に於ては農作は疑ひなく隨つて相場の下落は當然来るべきものとして沈痛な面持である

